



豊川保育園と豊川小学校 の連携活動

令和3年1月23日
幼児教育推進シンポジウム

豊川保育園 園長 河野利文
年長担任 福原美華子
豊川小学校 校長 大石 学
1年生担任 板倉美沙

連携園・校の概要

社会福祉法人豊川福祉会豊川保育園



	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
園児数	3	6	7	11	9	4	40名

R3年1月現在

コミュニティースクール
益田市立豊川小学校



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	7	8	6	1	7	7	36名

R3年1月現在

H30.7/28 OECD/Japanセミナー

School-Community Partnerships がカリキュラム・マネジメントに寄与した事例 (鳥根県益田市立豊川小学校)

- School-Community Partnershipsにより、Community Coordinatorを中心に、地域ぐるみで子供を育む方向性を共有。活動を協働化し、カリキュラム・マネジメントにも寄与。
- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、地域の教育力も高まり、大人も子供も学び合う「学びの循環」へ

① 学校運営協議会／地域の協議会での協議・連携

学校運営協議会

メンバー：校長、教職員、**Community Coordinator**、公民館、保育園、PTA、自治会代表 等

地域の協議会が推薦した者を
学校運営協議会の委員に任命

学校の教育目標や校内研究の取組、
子供の状況を共有

地域の協議会

メンバー：公民館、連合自治会、社会福祉協議会、民生児童委員、保育園、小学校、中学校、PTA、**Community Coordinator**等

<Community Coordinatorの役割>

- ・ **子供の学校生活と地域の現実生活を結びつける**こと
→ 子供の地域への参画 → 市民を育てること
- ・ 学校の**カリキュラム・マネジメントに寄与**すること



② 授業の実施

地域の特性や実情を踏まえて行う一部の授業について、**地域住民と連携して実施**。授業前に地域住民と指導案・ねらいを共有し、地域住民も授業に参画。指導案を踏まえて地域住民からも児童へ質問の投げかけ。

③ 振り返り

授業実施後、学校運営協議会の委員を中心に、**地域住民も授業の研究協議に参加**。



<カリキュラム・マネジメントの例>

- ① 授業で子供たちが作物を栽培する単元において、教師だけでは難しい大豆の栽培から豆腐作りまでを、地域住民の協力を得て実施。
- ② 授業後、そのねらいを達成した次年度以降も豆腐作りの活動が継続されていたが、学校・**Community Coordinator**・公民館の協議により、公民館活動に切り替えて継続。**Community Coordinator**が調整し、学校・地域の双方にとってより良い手法に転換することができ、児童の学びの充実にもつながった。

平成30年版文部 科学白書

第3章「生涯学習社会 の実現」

「社会に開かれた教育 課程」の実現のための コミュニティ・スクール と地域学校協働活動 の一体的推進

図表 2-3-4 「社会に開かれた教育課程」の実現のためのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



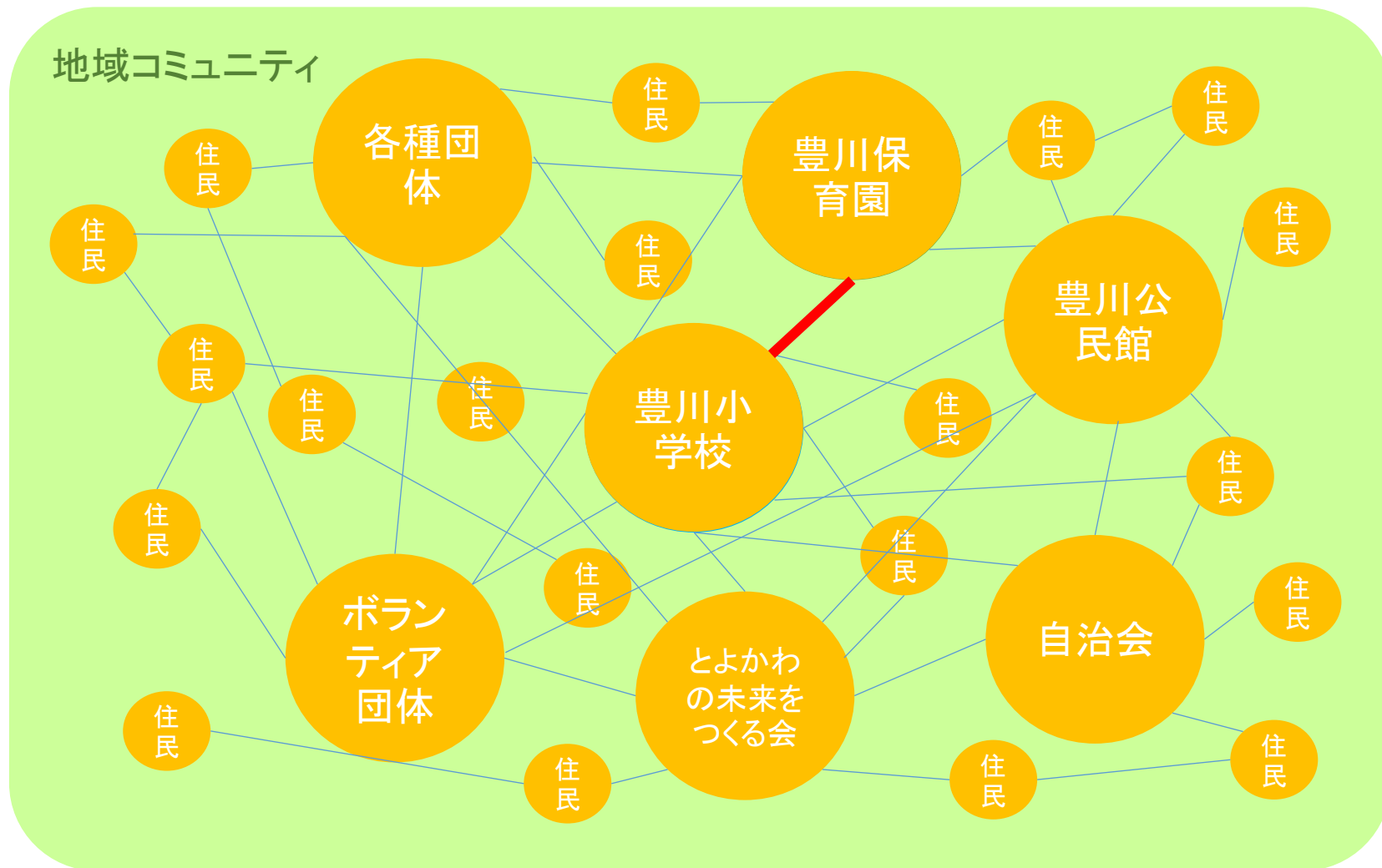
社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域住民とともに行った授業についての振り返りを行っている様子（鳥穂県益田市立豊川小学校）

(2) 地域と学校の連携・協働の現状

平成30年4月1日現在において、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入している学校数は46都道府県内5,432校となっています。小・中学校、義務教育学校数で見ると、全体の16.7%（4,796校）がコミュニティ・スクールを導入しています。

また、平成30年11月現在において、地域学校協働本部は6,190本部（※）が整備され、カバーする小・中学校数は、11,069校となっています。地域学校協働活動の一環として、地域住民等の協力を得て子供たちに学習・体験活動等を提供する「放課後子供教室」は18,749教

地域全体で子どもを育てる **共育共創** の地域コミュニティ





これまでの保小連携活動

(平成28年度～30年度)

平成28年度

- ・ほぼ毎月交流活動を実施。
- ・年間通して活動を実施していたが、年度当初の計画や年度末のふり返しなどはしていなかった。
- ・5・6年生との事前事後の話し合いの場はあまり持っていなかった。

年 月 日	交流活動の内容等
H28.5.30	小学校1・2年生との芋の苗植え
H28.6.7	小学校1・2年生との散歩と川遊び
H28.6.14	小学校5・6年生との大豆の種まき
H28.7.5	小学校5・6年生との小豆の種まき
H28.9.2	小学校1・2年生との川遊び
H28.10.18	小学校1・2年生との萑草山登山
H28.11.8	小学校5・6年生との大豆収穫
H28.12.21	保育園での小学校1・2年生による音読披露
H29.1.11	小学校5・6年生との豆腐作り&試食会
H29.1.20	小学校1・2年生との合同体育
H29.2.13	小学校1・2年生との合同雪遊び

平成29年度

・1年生がいなかったため2年生との交流が中心

・担当が変わると活動も大きく変わる。

・高齢者団体と一緒に交流となったため、小学生との交流をメインにした活動になりにくかった。

・小学校の教育活動としての目的が曖昧だった。

年 月 日	交流活動の内容等
H29.5.11	小学校2年生 地域のお散歩（生活）
H29.6.20	小学校2年生・さつき会とのさつま芋苗植え（総合）
H29.7.27	小学校2年生 教科書の朗読とピアノ演奏（国語・音楽）
H29.8.21	つくしんぼクラブとの交流
H29.9.4	小学校2年生 川遊び交流（総合）
H29.9.24	小学校2～4年生 豊川地区連合運動会
H29.11.2	小学校2年生・さつき会とのさつまいも掘り（総合）
H29.12.1	小学校2年生・さつき会との焼き芋交流会（総合）
H30.2.23	小学校2年生 給食試食会・掃除体験

幼小接続の段階を示すステップ

ステップ0	連携の予定・計画がまだ無い。
ステップ1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。
ステップ2	年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した課程や計画の編成・実施は行われていない。
ステップ3	授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した課程や計画の編成・実施が行われている。
ステップ4	接続を見通して編成・実施された課程や計画について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」(平成22年11月、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議)

平成30年度 年間活動計画

月	活動内容
5月	おさんぽ
6月	さつま芋の苗植え
7月	国語活動発表・ポンポン練習
8月	豊川地区連合運動会合同練習
9月	豊川地区連合運動会 合同種目・マーチング
10月	芋掘り
11月	とよかわっこ発表会の見学
12月	収穫祭（焼き芋ほか）
1月	おもちゃ祭り
2月	給食試食会
	保小合同会議（情報交換・年間活動振り返り・次年度計画）
※活動前後に保小それぞれの指導案を持ち寄り事前の打ち合わせ会議、振り返りの会議をする	

- 1年生との交流を中心にする。
- 事前の話し合いでお互いの目的とねらいの共有を図る。
- 事後のふり返りの場を必ず持つ。
- 校内でも保小接続連携の必要性を広げていく。

平成30年度

ステップ0	連携の予定・計画がまだ無い。
ステップ1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。
ステップ2	年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した課程や計画の編成・実施は行われていない。
ステップ3	授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した課程や計画の編成・実施が行われている。
ステップ4	接続を見通して編成・実施された課程や計画について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

※年間計画を年度当初に作成し、年度末にふり返りの場を持つ。

5月11日 おさんぽ（上の原地区）



6月 6日 さつまいもの苗植え



7月12日 国語発表・ポンポン練習・ころがしドッチボール



8月31日 運動会合同練習（ポンポン）



9月16日 豊川地区連合運動会（保小・保中交流）



10月29日 いも掘り



11月17日 小学校はっぴょう会の見学



12月17日 小学校収穫祭交流（新聞あそび・焼きいも）



2月8日 小学校図書委員会による絵本の読み語り



2月26日 おもちゃであそぼう・給食・昼休み・掃除体験



2月27日 保小合同会議




- ・ 保育園でどのような活動をしているか、保育園での遊びや生活で培われる力と小学校の教科で求められる力との繋がりについて説明。

幼小接続の段階を示すステップ

ステップ0	連携の予定・計画がまだ無い。
ステップ1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。
ステップ2	年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した課程や計画の編成・実施は行われていない。
ステップ3	授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した課程や計画の編成・実施が行われている。
ステップ4	接続を見通して編成・実施された課程や計画について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」(平成22年11月、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議)



令和元年度～
島根県幼小接続連携研究事業

2年間の研究の取組み

1. 交流活動の充実

(1)交流を通じた子どもの育ち

- ・どんな良い点があったか（10の姿）

(2)事前事後の話し合いの充実

2. 持続できる保小連携活動の仕組みの構築

(1)園内・校内体制の構築

- ・教職員の連携～保小内に連携の理解を広げる

(2)接続カリキュラムの見直しサイクルの確立

(3)保護者や地域への啓発

3. 成果と課題

令和元年度

小学校の授業を保育士が見学

交流活動の前の打合せで、ねらいや目標を確認しながら活動内容を決めていく

交流活動の後のふり返りで子どもの姿や育ちについての意見交換

小学校教員による保育体験を実施

保小職員合同の研修会を開催

年間活動と接続カリキュラムのふり返りと次年度に向けた方針の協議

年間計画・接続カリキュラムの確認

年月日	交流活動の内容等
H31.4.26	小学校授業参観・年間計画打合せ
R1.5.14	保小合同会議
R1.5.24	第1回交流活動「おさんぽ会」
R1.5.28	第1回活動ふり返り・打ち合わせ会議
R1.6.10	[公開保育]第2回交流活動「いも苗植え」
R1.6.13	第2回活動ふり返り会議
R1.6.27	第3回活動打ち合わせ会議
R1.7.4	第3回交流活動「運動会練習と創作活動」
R1.7.12	ふり返り会議
R1.9.6	保幼小連絡協議会研修会：実践発表
R1.9.18	連合運動会合同練習
R1.9.25	豊川地区連合運動会
R1.10.9	運動会ふり返り・第4回活動打ち合わせ会議
R1.10.16	第4回交流活動「絵の具あそび」
R1.11.6	第4回活動ふり返り・打ち合わせ会議
R1.11.12	第5回交流活動「さつまいも掘り」
R1.11.16	小学校発表会見学
R1.11.22	第5回活動ふり返り会議
R1.12.4	第6回活動打ち合わせ会議
R1.12.12	第6回交流活動「クッキング」
R1.12.19	第6回活動ふり返り・打ち合わせ会議
R1.12.25 26	小学校教員による保育体験
R2.1.23	第7回交流活動「お正月遊び」
R2.1.28	第7回活動ふり返り及び第8回打ち合わせ会議
R2.2.17	保・小・地区合同研修(保育園・小学校・放課後児童クラブ・公民館職員参加) 『島根県立大学 福井先生による小学校図工科についての研修』
R2.2.21	第8回交流活動「給食試食及び学校体験」
R2.3.17	保小合同会議(保小管理職参加による今年度の活動及び接続カリキュラムのふり返り)

令和2年度

小学校の受
業を
が

年間計画・
接続カリ
キュラムの
確認

交流活動の前の打合せで、
ねらいや目標を確認しながら
活動内容を決めていく

交流活動の後のふり返りで
子どもの姿や育ちについて
の意見交換

小学校教員による保育体
験を実施

保小職員合同の研修会を
開催

年間活動と接続カリキュラ
ムのふり返りと次年度に向
けた方針の協議

連携活動の意義を保護者や
地域に伝える

R2.5.19 打ち合わせ 交流の進め方の話し合い・サツマイモ活動の日程決め

R2.5.20 第1回 交流活動中間休み～交流 ニンジン植え/しっぽ取りゲーム/ハンカチ
おとし(ねらい:なかよくなろう)

R2.5.26 第1回活動のふり返り

R2.6.3 さつまいもの苗植え打ち合わせ

R2.6.9 第2回 交流活動 さつまいもの苗植え

R2.6.23 第2回活動のふり返り/次回の交流内容の打ち合わせ

R2.7.14 今後の交流内容の打ち合わせ

R2.7.21 第3回 交流活動 川遊び/五右衛門風呂

R2.8.24 第3回活動のふり返り/次回の交流内容の打ち合わせ

R2.9.1 第4回 交流活動 マーチングのポンポン練習/人参収穫

R2.9.2 保小合同運動会合同練習

R2.9.3 保小合同運動会合同練習

R2.9.16 幼小連携・接続研究事業研修(島根県教育委員会・幼児教育センター)

R2.9.23 保小合同運動会(予行練習)

R2.9.28 小学校運動会参加

R2.10.8 第4回活動以降のふり返り/次回の交流(第5・第6)の打ち合わせ

R2.10.15 第5回 保小交流 さつまいも掘り

R2.10.26 第6回 保小交流 園外交流(万葉公園)

R2.11.11 小学校発表会予行練習の見学

R2.11.19 第5・6回活動のふり返り/次回の交流内容の打ち合わせ

R2.11.24 第7回 保小交流 秋まつり (研究授業)

R2.12.18 第7回活動のふり返り/教員による保育体験・次回交流の打ち合わせ

R2.12.2 とよかわの未来をつくる会ひとづくり部会で取組みを説明

R2.12.28
・R3.1.7 小学校教員による保育体験(28日5名、7日4名参加予定)

R3.1.27 第8回 保小交流 昔あそび(こま回し・凧作り)

R3.2.22 小学校保育園職員合同研修会(島根県立大学福井先生・表現活動)

R3.2.24 学校体験(給食試食・掃除・昼休み)～地域授業公開日(保護者・地域住民)

R3.3未定 保小合同会議(年間の振り返り、接続カリキュラムの検証・次年度の計画)



1. 交流活動の充実

(1) 交流を通じた子どもの育ち

令和元年6月10日 さつまいも植え



小学校のねらい

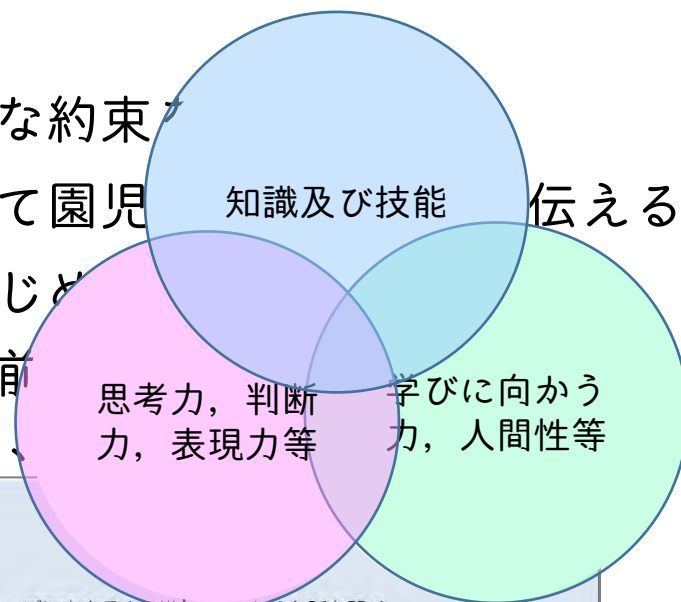
- ・自分たちで調べたサツマイモの植え方を園児にわかりやすく説明できる。
- ・協力して活動し、**より仲良くなることができる。**

保育園のねらい

- ・さつまいもの植え方を知り、楽しんで取り組む。
- ・小学生と楽しい時間を共有し、**かかわりを深めていく。**

【小学生】

- 「**道徳性・規範意識の芽生え**」 → 園児にどんな約束が
 「**言葉による伝え合い**」 → 目標や予定について園児
 「**自立心**」 → 1年生としての自覚を持ち、はじめ
 「**数量・図形、文字等への関心・感覚**」 → 事前
 を計画し、



<p>9:30</p> <p>日ざしが強い場合は、日陰に集まる。(昇降口付近)</p> <p>進行→小学生</p> <p>活動ヘア ゆら・みこ・るか かえて・はると みなと・あおい ゆうめ・あこ ゆうた・かのん・ゆすか わたる・ほのか・よういちろう</p>	<p>○小学校集合</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生（保育園児）と対面&挨拶 司会をする <p>【(1) 約束・目標について話す】 (2) 活動予定を話す ①ヘアになり、一緒に看板に名前を書く ②裸足になり、畝をつくる（スコップ使用） ③マルチをかけて穴を開ける ④さつまいもの苗植え</p>	<p>・はじめの会がスムーズに出来るよう進行カードを渡す。</p>	<p>・しっかりと話を聞く。 ・子ども達の様子を観察し、発言やつぶやきに耳を傾けるようにする。</p>
<p>9:40</p>	<p>活動開始</p>		

【園児】

はじめの会でしっかりと1年生の話を聞く → **道徳性・規範意識の芽生え**





【小学生】

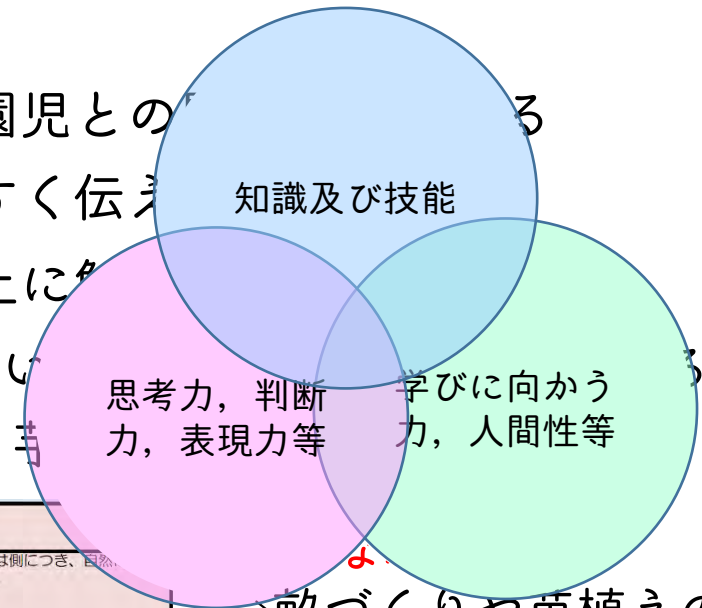
「協同性」 →ペアになって活動することで園児との関わりを深める

「言葉による伝え合い」 →園児に分かりやすく伝え、知識及び技能

「自然との関わり・生命尊重」 →芋の苗や土に触れ、好奇心や探究心をもち、積極的に関わる

「道徳性・規範意識の芽生え」 →スコップの使い方や、お話を聞き、学びに向かう力、人間性等

「自立心」 →最後まで自分たちで畑をつくり、芋を収穫し、思考力、判断力、表現力等



→畝づくりや苗植えの作業をする

活動開始				
9:40				
9:55	小学校先生：畑に誘導	①ペアになり一緒に看板に名前を書く ○出発（畑に行く） ～保小ペアになって移動する～	<ul style="list-style-type: none"> 小学生が保育園児を誘い、看板と一緒に名前を書いていく。文字が書けない子もいるので、そういう子には小学生が書いてあげるようにする。 担当の子に進んで声をかけて手をつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> 恥ずかしがる子には側につき、自然に誘導するようにしていく。 お世話してもらいながら、一緒に歩く。援助が必要な子の中には、大人がつき一緒に歩く。
10:00		②裸足になり、畝をつくる（スコップ使用） ③マルチをかけて穴を空ける ④さつまいもの苗植え	<ul style="list-style-type: none"> お手本を子どもに示させる。 ペアの子のお世話をしながら協力して植えていく。 マルチに書いてある線を基準にサツマイモの苗を植えていく。 水やりをし、生長を楽しみにする。 自分のmy畝の苗植えを終えたペアはほかの子のお手伝いもしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の園児への接し方や、子ども達の表情や態度等もしっかりととらえ、観察をする。 子どものつぶやきや、発見等に、目や耳を傾け、一緒に感じていく。 公開保育で来られている方にも手伝っていただき、一緒に活動を楽しんでいただく。
11:00		○片付け	<ul style="list-style-type: none"> 協力して片付ける。 リードしながら一緒にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の話を聞いて、一緒に片付け生長を楽しみにできるようにする。

【園児】

小学生とペアになって活動する → 「協同性」「言葉による伝え合い」

芋の苗や土に触れ、好奇心や探究心をもち積極的に関わる

→ 「自然との関わり・生命尊重」











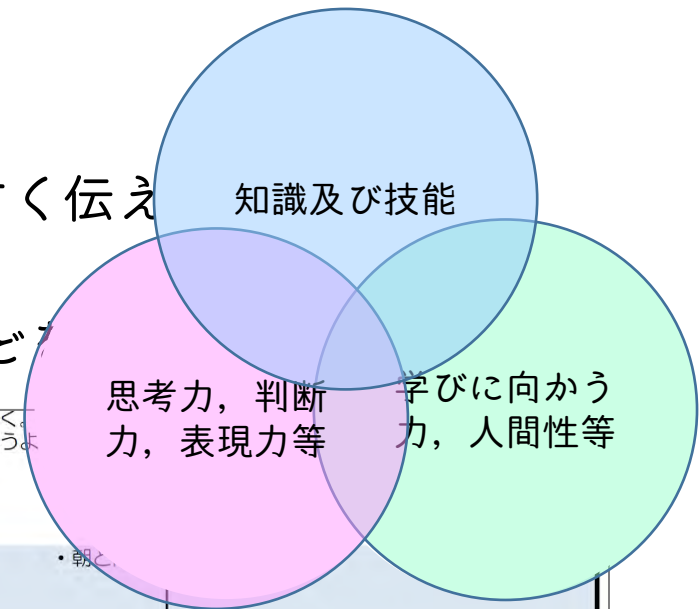
【小学生】

「協同性」 → 園児と手をつないで歩く

「言葉による伝え合い」 → 園児に分かりやすく伝える

「思考力の芽生え」「豊かな感性と表現」

→ 活動を通して感じたことなどを発表する



11:10	小学校先生：昇降口に誘導	小学校体育館前へ移動。 (足を洗って靴を履く)	・順番に足を洗っていく。 に小学校昇降口に向かうよ
11:20	進行→小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園児と手をつないで歩く。 ・小学生と手をつないで歩く。 <p>○小学校昇降口に集合</p> <p>*今日の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しくでき目標が守れたか ・どんなことが楽しかったか ・どんな意見をしたらか 等、発表する <p>○今後の予定を伝える。</p> <p>○挨拶をし、解散する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝と、 ・振り返りができた児童を認める。 ・発言できる子は、小学生と一緒に手をあげて発表する。 ・自分が感じたことを表現する。 ・生長を楽しみにし、畑を進んで観察できるように促していく。
11:30		○小学校到着	○保育園到着
			<ul style="list-style-type: none"> ・着替え、排泄、手洗い、うがいをする。

【園児】

小学生と手をつないで歩く → 「協同性」「言葉による伝え合い」

活動を通して感じたことなどを小学生の前で発表する

→ 「思考力の芽生え」「豊かな感性と表現」



令和2年 6月 9日 さつまいも植え



- ・昨年度の反省を生かし、活動を通して育つ力を意識して、作業的にも時間的にも無理のない計画に。
- ・あえて前年度と同じ「さつまいも植え」という活動内容にすることで、1年生が前年度にしてもらったことを思い出しながら力が発揮できるように。















1. 交流活動の充実

(2) 事前事後の話し合いの充実

<事前の話し合い>

- お互いの活動目標とねらいの確認
- 当日の流れと予想される子どもの姿の共有
- 配慮事項や役割の確認

<事後の話し合い>


- 活動目標やねらいに沿った子どもの姿の振り返り
- 当日の動画や写真をもとに振り返る
- 次回の活動についての概要を打ち合わせる

行事等実施計画書

行事等実施計画書				園長	副園長	主任	担当者
日時	令和元年度 5月 24日 (金曜日) 予備日: 27日 (月曜日)			実施場所	上の原~河原		
行事名	保小交流 (第1回目) 散歩~上の原地区~			実施人数	小学校: 1年生⑥ 保育園: 年長⑨ 大人: 小学校 保育園		
ねらい	○小学生との散歩を楽しむ。 ○楽しい時間を共有し、関わりを深めていく。						
時間	環境構成	子どもの姿		配慮事項 (小学校)	配慮事項 (保育園)		
		小学生	保育園児				
~9:00		○1時間目授業	○順次登園	名前を白ガムテープに書いて赤白帽子に貼り 名前を分かりやすくする	・体調面の把握。		
9:20	・カメラ・救急道具・ビニール袋を持っていく		・水分補給・衣服調整 ・排泄 ○保育園出発			・お互いの顔がよく見えるよう最初は対面に整列する。	・小学生と散歩に行くことを伝えて出発する。 ・手をつないで農村公園まで、安全に歩く
9:30	日ざしが強い場合は、日陰に集まる。	○農村公園集合		・自信をもって、進行出来るようにマニュアルを示す。 ・保育園児の先輩として、散歩の約束が言えるよう促す	・話しあいに参加する。保育園児なりにも、安全で楽しい散歩ができるためのお約束を考え、発言できる子は発表し、自分の考えを、言葉で表現していく。		
9:40~ 10:05	進行: 小学校の先生 & 1年生	・小学生(保育園児)と対面&挨拶・自己紹介 *散歩の時のお約束を一緒に考えていく ・話しあいの司会をする。 (司会) 進行カードをみて進める。 (約束係) 散歩で注意することを発表し、園児に尋ね、まとめる。 ・交通ルールの確認 ・集団行動のルール 等				・落ち着きのない子は、保育士が側につき、一緒に参加出来るようにする。	・小学生と手をつなぐ。恥ずかしがる子は保育士や保育園児と一緒に手をつなぎ、無理なく、スタート出来るようにする。
	○話しあいを小学生で事前にしておき、保育園児に伝えるようにする。 ○話し合う時間をとり、散歩の基本である楽しく・安全にというルールを子ども達が意識し、考えられるようにする。	○出発 農村公園→横断歩道→土手→用水路→河原					



- ・ 子どものとらえ方の違いやそれぞれが大切にしていることに気付く。
- ・ 児童・園児をお互いが見る視点が明確になる。
- ・ 職員同士の互惠性が高まる。



2. 保小連携活動の 持続可能な仕組みの構築

(1) 園内・校内体制の構築

【豊川小学校の体制づくり】

○1年目（令和元年度）

- ・年度当初に保小連携の取組について理解する。
- ・保小連携接続に係わる研修の機会を持つ。
- ・保育体験
- ・スタートカリキュラムの見直し

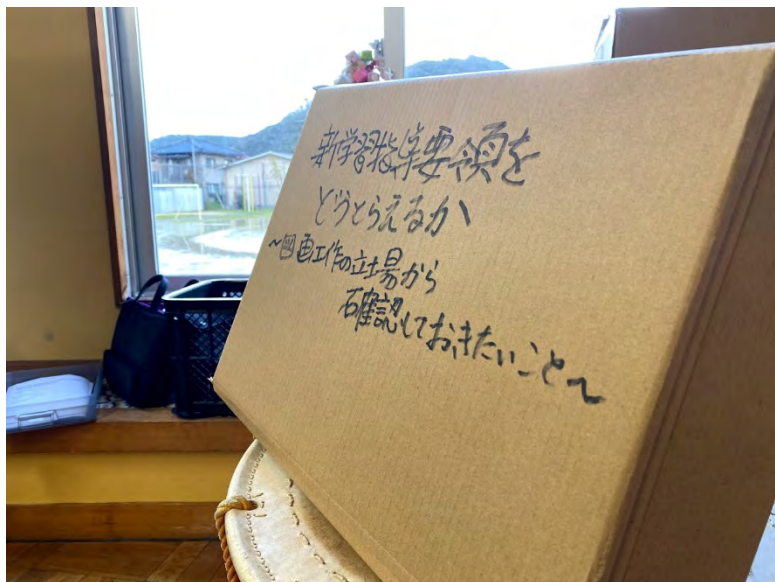


保・小・地区合同研修（令和2年2月17日）
島根県立大学福井先生による授業への参加と講義

講義：「新学習指導要領をどうとらえるか」
～図画工作の現場から確認しておきたいこと～

- ・小学校・保育園の教職員だけでなく・放課後児童クラブ・公民館の職員も参加





- ・ 小学校学習指導要領では図画工作でどのような資質・能力を育成することをめざしているのか
- ・ 子どもの状況に合わせた適切な声かけの仕方
- ・ 主体的対話的な深い学びが求められ、「探究的な学習の重要性」が全ての校種で問われている
- ・ 問いを教師が与え、子どもが答えを探したり、解決するという役割から転換が必要

【小学校教員の感想】

- ・ 図画工作科における新学習指導要領の改訂の趣旨や育成すべき資質能力について理解することができた
- ・ 保育園の先生に小学校での図画工作の授業についてより知ってもらうことができた
- ・ 幼児期に育ってほしい姿の中から、図画工作科につながるものの共有や小学校の図画工作科の目標との関連性について理解することができた

【保育園職員の感想】

- ・ 保育園での造形活動をはじめとする表現活動で育つ力が学校教育における図画工作科で必要な力にどう繋がっていくのか知ることができた
- ・ 小学校の図画工作の授業を知る機会となった
- ・ 保育所保育指針と小学校の学習指導要領の繋がりについて考え、理解する機会となった

小学校教員による保育体験 令和元年12月25～26日



園長によるオリエンテーション

- ・ 0～6歳児の発達段階と育ち
- ・ 保育園の理念・方針・目標
- ・ 保育士の子どもへのかかわり方
- ・ 日案の説明

教員1人1クラスずつに分かれて保育体験



【小学校教員の感想】


- ・ 集団の輪から外れた子のためのスペースが意図的に環境設定がしてあるのが良いなあと思った。
- ・ 年長さんが下の子の面倒をよく見ていて、今の一年生も昨年まではやっていたんだらうなあと思った。
- ・ どうしても小学校に上がると上の子にやってもらうことが続くので、毎月の交流は大事だと思った。
- ・ せっかく保育園で培ったものは活かせるように小学校でもなるべく自分たちでさせるとか、いろいろ任せてこっちが見守るようなことができるの良いなあと思った。
- ・ 小学校では教員が教えることが主になるが、乳児でも自分が主で、保育者があわせている。子どもの様子から子どものニーズをどうくみ取っていくかのところが大切だと思った。
- ・ つい手を出したくなる場面でも、保育士さんは見守るけど最低限でしか手を出さない。失敗してもやらせてあげないと思った。

【豊川小学校の体制づくり】

○2年目（令和2年度）

- ・ 幼小連携接続の担当教諭を設定
- ・ 年度当初に幼小連携接続について、園長先生、県担当者より説明をしてもらう（コロナで9月実施）
- ・ 幼小連携接続の公開授業を全職員が参観し、協議を行う
- ・ 昨年度成果のあった、保育体験と保小合同職員研修を実施





2. 持続可能な保小連携活動の 仕組みの構築

(2) 接続カリキュラムの 見直しサイクルの確立

接続カリキュラムの見直し

にとつての段差	→	小学校1年生（6歳児前期）スタートカリキュラム（主な経験内容）
---------	---	---------------------------------

食べられる量を考えて盛り付けの量を調整しながら、苦手なものも少しずつ食べるようになる。

配膳片づけは、自分たちでする。

○配膳、片付け等、当番活動の仕方を知り、当番活動ができるようになる。



にとつての段差	→	小学校1年生（6歳児前期）スタートカリキュラム（主な経験内容）
---------	---	---------------------------------

食器の大きさの違いや時間内に食べられる量を考えて盛り付けの量を調整しながら、苦手なものも少しずつ食べるようになる。

配膳片づけは、自分たちでする。

○配膳、片付け等、当番活動の仕方を知り、当番活動ができるようになる。

教員が思っている以上に小さな環境の違いは子どもにとって大きなハードルになっている


接続カリキュラムの見直し

運動遊び中心	体育学習による運動	○2列、名前順など様々な整列の仕方を学ぶ。 ○ルールを守って楽しく運動をする。
		○集団行動に慣れる。
読み聞かせ中心	読み聞かせから、自分で本を選び読む	○聞く読書も大切にしながら、自分で読む読書活動も徐々に行う。



運動遊び中心	体育学習による運動	○場に応じた整列の仕方を学ぶ。 ○ルールを守って楽しく運動をする。
		○集団行動に慣れる。
読み聞かせや、自分で本を選び読む	自分で本を選んで読む	○聞く読書も大切にしながら、自分で読む読書活動も徐々に行う。

接続カリキュラムを基に話し合う中で、学校や保育園での子どもの姿や実態について共有する機会となる。



2. 持続可能な保小連携活動の 仕組みの構築

(3) 保護者や地域への啓発

【豊川保育園】

「えんだより」での保護者への発信

保小交流（第2回目）～さつま芋の苗を一緒に植えたよ～



さつま芋の苗を1年生と一緒に小学校の畑のスペースに植えました。活動するにあたり、最初集合した場所は小学生1年生クラス。少し緊張した様子で入室です。

すると、前回ペアだった1年生たちが「～ちゃん！●●くん！！」と声をかけてくれ大歓迎。

一気に緊張はほぐれました。畑にたてる看板をグループごとに制作した後、畑に移動。畑の畝づくりから一緒にスタート

です。ペアの1年生の側にくっつき、丁寧に畝の作り方を側で教えてもらう姿、みんなで畝が完成していく姿を見つつ、一緒に頑張ろうとするまつ組4人でした。さつま芋の苗も無事に土の中へ…



大きく立派なおいものが収穫できたら、さつま芋でクッキング？スタンプ？などして楽しみたいと思います。

さつま芋の苗植え後は、公民館の方々がつくってくださった、手作り柏餅を頂きましたよ。その後は校庭で少しあそび、まつ組さんの方から「●●ちゃ～ん！」と名前を呼ぶ姿も。1年生との距離もまたぐぐっと近くなりました。



【豊川小学校】

「学校だより」での保護者や地域への発信

保小交流学习～さつまいもを植えました～

毎年豊川保育園の年長さんと1年生が交流学习を行っています。9日（火）は、さつまいもの苗を「とよかわガーデン」に植えました。1年生は昨年もさつまいも植えを経験しています。さっそく、保育園の年長さんに植え方を教えてあげ、少しだけお兄さんお姉さん気分を味わいました。この日は気温が上がり、暑い中での作業になりましたが、みんなで畝をつくり、約100本の苗を植えました。この日は、隣の公民館でまきの葉に包んだよもぎもちを作っておられ、休憩がてら食べさせてもらいました。収穫後にはどんな調理をして食べようかなと思いを巡らせていたことでしょう。これからも保育園との交流学习は続きます。



【地域との情報共有】

「とよかわの未来をつくる会」での活動報告



- ・ コミュニティスクールを支える地域団体への情報提供

【地域授業参観日での参観授業の実施】

幼小の連携接続の様子を参観授業で見ってもらうことで保護者や地域に更に理解を広げる

令和3年2月24日（予定）



3. 成果と課題

幼小接続の段階を示すステップ

ステップ0	連携の予定・計画がまだ無い。
ステップ1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。
ステップ2	年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した課程や計画の編成・実施は行われていない。
ステップ3	授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した課程や計画の編成・実施が行われている。
ステップ4	接続を見通して編成・実施された課程や計画について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

個別の知識や技能
(何を知っているか、何が
できるか)

思考力・判断力・表現力等
(知っていること・できることをどう
使うか)

学びに向かう力、人間性等
(どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)

小学校

接続カリキュラムの実施 (アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム)

知識及び技能の
基礎

思考力・判断力・表現力等の
基礎

学びに向かう力、人間性等

幼・保・小

(1)健康な心と体(2)自立心(3)協同性(4)道徳性・規範意識の芽生え(5)社会生活との関わり(6)思考力の芽生え(7)自然との関わり・生命尊重(8)数量・図形、文字等への関心・感覚(9)言葉による伝え合い(10)豊かな感性と表現

【2年間の取組みの成果】

- ・ 接続カリキュラムに基づき、保育園・小学校の接続期の子どもたちの姿について話し合うサイクルができた
- ・ 年長児～小学1年生の2年間の子どもたちの育ちを保育園・小学校で考えられるようになった
- ・ 保育体験を通して、職員の子どもを見る視点が広がり、よりていねいに子どもに関わることができるようになった。

【今後の課題】

- ・ さらに持続可能なものにしていくために全職員への幼小連携への理解を広げる
- ・ 生活科の年間計画の中に、交流についてきちんと明記していく
- ・ 市全体への取組に広げていくこと